

学んだこと 心に残る言葉 教訓 感じたこと 悩んでいること…そして反省

失敗の連続であり、自戒することばかり。本物の教師までまだほど遠い 私は教師になれるのだろうか。

ただ ひたすら 反省し 自戒し 勉強不足の自分なり 邁進するのみ なかなかできない自分である

学校・教師編

○逃げるな あせるな あきらめるな。

○担任の本命は何か 先生の命は何か 根本を忘れてしまっただけではないか 授業であり、それを支える素材研究であり、教材研究である。

○教師が教師としての責任を果たそうとすれば、一時間一時間の授業を精一杯充実させなければならぬ。

○事務処理屋ではなく、書類を書くのではなく、評価されるのでもなく…先生は何をすべきか。

○最近叱らない教師が多くなったし、穏やかな管理職が多くなった。人間関係の希薄さから来るものなのか。

それとも昔の先生が頑固だったのか。主事先生の指導は本音であろうか。建前であろうか。「今日の授業はやらない方が良かった」ときっぱりと言える人に魅力を感じる。

○子どもが悪いのではなく、教師の指導がいたらないのである。

○明日の授業の素材研究・教材研究 子どものとらえ 学級経営の見直し これが教師の本命である。

○書く力は書く活動の繰り返しによって伸びる。

○藤が丘文集をどう活用するのか 根本を考えずして、惰性的に続けていくことの意味は何か。

○学校のスリム化をどう図っていくのか。

- 危機管理も大事だが、失ったものも大きい。
- 私たちは自分の首を自分で絞めていくことのないように気をつけないといけませんね。
- 気迫と気合いがなければ：と思っけていても薄れていくこの意識、なぜだろう。
- 教室の中心は教師であり、学校の中心は校長である。中心をないがしろにさせてはならない。子ども中心ではない。大人中心である。
- 提出日はどうやって決まるのか 提出日が延長できるものは 延長した日が提出日である。
- 祖父母参観で祖父母の方の顔を見るのはとても嬉しい。幸せ気分になる。そこに人間的な温かさがある。自分にも人間的な温かさがあるだろうか。
- 子どもから学び、同僚から学び、先輩から学ぶ。
- ニコニコしている子どもの表情がその子の内面を表す。
- 靴のそろえ方でその子の心の状態がわかる。
- 最近子ども達がけんかをしなくなった。なぜだろう。
- ゲーテの「快の感情」「不快の感情」授業は「快の感情」子ども達を生き生きとさせるにはこれが必要。
- しゃべることより、黙って聴く訓練。
- 親の言うことが聴けない子は 先生の言うことも聴けない。聴く基本は家庭である。
- 家庭・地域・学校 それぞれの役割をはっきりさせる。学校は何でもかんでも引き受けないこと。 学校教育の限界を知れ。
- 夏休みぐらいは先生達十分休みたいですね。心から自分の好きなことに没頭したいですね。リフレッシュすることが大事。 しかし、やるべき時にやる。ふうつ。
- 相手の目を見て話す うなづいて聴く。
- 学力向上の基盤は家庭である。しかし、家庭教育力が低下してきた。学校はますますやらねばならぬ事が多くなってくる。できること、できないことをはっきりさせたい。
- 提出物ができるだけ削減。会議の縮小。無くってはならないものと無くてもやっていると見定めて行かねばならない。

- 研究は子どもに返り、自分に返るものである。そして、日々の授業に返っていくものである。まとめとは必ずしも冊子をまとめることでもなく、発表することでもない。「研究」ではなく、「実践」の方が良いかも知れない。
- 私たちは研究者ではなく、実践者である。
- 金は出さないが 仕事を増やす：何だろう。
- 費やす半分以上は違う仕事に追われている。
- 心のゆとり どうしたら生まれるんだろう。

一 般 編

- 人を赦すということほど 貴いものはない。
- 叱ってくれる人がいることは ありがたいこと 注意してくれる人はありがたいこと なのに素直に受け容れれない自分がいる。
- 父母に感謝せよ。この世に生命を出させて頂いたことに感謝せよ。
- お茶を飲んで語ることは最高の楽しみである。
- お茶を入れていただけのだけで「ホッとする」ありがたい。たかがお茶だが、されど「お茶」である。千利休も「茶の本」を書いている。人の心を温かくする。「自分は自分でする」のもいいが、酒でもつぎあう関係がいい。
- 東から太陽が昇り、西に沈む。水は高いところから流れ、低いところに流れていく。自然界の法則である。その法則に則って人間は生きている。
- 実るほど頭の下がる稲穂かな。
- 忙しいときほど、ありがたい。不幸せなことは 何もやることがないということ。
- ただ、貴方がそこにいるだけでありがたいし、嬉しい。
- 人生の 最も 嫌な 苦しい つらい 損な場面を 真っ先に 微笑みを持って 担当せよ。
- 今日も生かされています。人のために生かしていただいています。ありがとうございます。

○現象世界に振り回されている自分。

○相手のために無償にしてやることが愛であり、代価を求める愛は偽物である。

○男女平等であるが、役割は違う。体の構造が物語っている。そこに男らしさ、女らしさが生まれてくる。「男らしさ」「女らしさ」は使いたがらない方もいるが私はあえて使いたい。

○世の中便利になればなるほど、失う人間性も大きい。心の問題といわれるゆえんである。

○人のふり見て、我がふり直せ。

○ねたみやひがみは見苦しい。

○卑怯者は誰だ？私か…。

○「恥」や「恥ずかしさ」は日本の大事な文化である。

○そばにいて うなずくだけで 出る勇氣。

○忙しい 大変だということは 罰が当たる ありがたい 感謝である。

○目的達成のためには 正しい手段が大事になる。

○うぬぼれは、心の中の赤信号。

○慣れは怖い。感覚を麻痺させる。

○相手を裁く心が 自分をさらに苦しめている。

○本当は埒もないことなのに 誰も言い出せないでいる。

○セクハラ・パワーハラ・スメント・プライバシーの保護・危機管理・安全対策…がんじがらめの自分自身。

…なかなかできない自分自身。これが語尾に必ずつきます。毎日反省、失敗の連続です。

少しずつ魂を向上させていきたいと思っています。読んで下さった方ありがとうございます。

どうぞ、お体ご自愛され、元気に 明るく 毎日を過ごしていきましょうね。今日も貴方に支えられ、すばらしい一日でした。ありがとうございます。明日も 楽しい一日になります。ありがとうございます。(合掌)